

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤスナビル	階数	地上5F
建設地	兵庫県姫路市	構造	S造
用途地域	準住居地域、指定なし	平均居住人員	208人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2020年8月27日
敷地面積	1,962㎡	作成者	
建築面積	540㎡	確認日	2020年8月27日
延床面積	2,411㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	建物利用者が室内外共に機能的で長期にわたって安心して安全に利用できるように計画をした。また、敷地周辺にも駐車場・駐輪場や、植栽を設けることで不快を与えないように配慮した。	その他
<b>Q1 室内環境</b>	窓・仕上材は遮音性能の高いものを採用し、窓にはブラインドやカーテンを設置することで室内環境へ配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b>
<b>LR1 エネルギー</b>	壁・床・屋根共に断熱材を吹き、Low-eの複層ガラスを用いた窓を採用することで、外皮の性能を向上させた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	
	節水型の水栓・便器を採用したり、フロアの7割以上に再利用可能なOAフロアを採用することで資源削減に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b>
		来客用と従業員用の駐車場を分けることで敷地外の交通負荷へ配慮した。また、広告物照明を行わないことで光害を抑制した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される